

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】平成25年6月20日(2013.6.20)

【公表番号】特表2012-526903(P2012-526903A)  
 【公表日】平成24年11月1日(2012.11.1)  
 【年通号数】公開・登録公報2012-045  
 【出願番号】特願2012-510900(P2012-510900)  
 【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)  
 B 0 5 B 15/04 (2006.01)  
 B 0 5 C 21/00 (2006.01)  
 C 0 9 J 201/00 (2006.01)  
 C 0 9 J 201/02 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z  
 B 0 5 B 15/04 1 0 2  
 B 0 5 C 21/00  
 C 0 9 J 201/00  
 C 0 9 J 201/02

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月1日(2013.5.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

保護された加工面に隣接する表面に塗布されたコーティングから、該保護された加工面を遮蔽するための粘着性マスキング物品であって、

(a) 第1及び第2の対向する主表面と、少なくとも1つの縁部とを有する裏材層と、

(b) 前記第1及び第2の裏材層の対向する主表面の少なくとも1つの少なくとも一部分の上の接着剤と、

(c) 前記マスキング物品の少なくとも前記縁部に存在して、前記コーティングが前記裏材層の前記縁部と接触すると前記コーティングと接触する水溶性カチオン性障壁誘発化合物と、を含む、粘着性マスキング物品。

【請求項2】

保護された加工面に隣接する表面に塗布されたコーティングから、該保護された加工面を遮蔽するための粘着性マスキング物品であって、

(a) 第1及び第2の対向する主表面と、少なくとも1つの縁部とを有する裏材層と、

(b) 前記第1及び第2の裏材層の対向する主表面の少なくとも1つの少なくとも一部分の上の接着剤と、

(c) 前記マスキング物品の少なくとも前記縁部に存在して、前記コーティングが前記裏材層の前記縁部と接触すると前記コーティングと接触するポリカチオン性障壁誘発処理剤と、を含む、粘着性マスキング物品。

【請求項3】

有機カチオン性障壁誘発化合物を含むマスキング物品に関して使用する障壁誘発処理剤配合物。